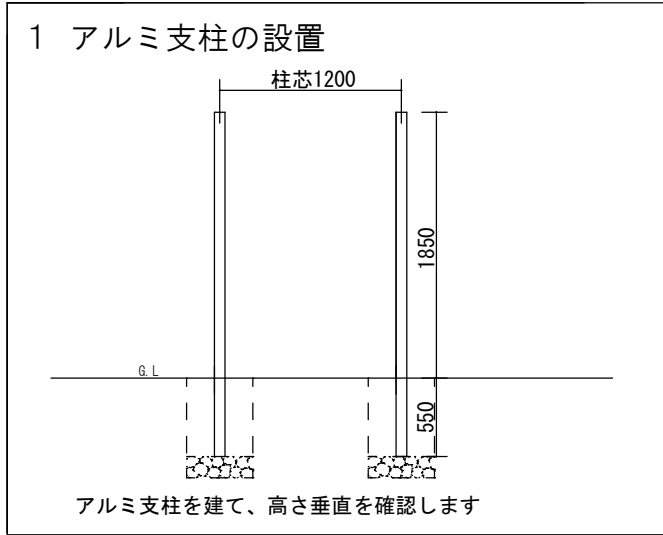
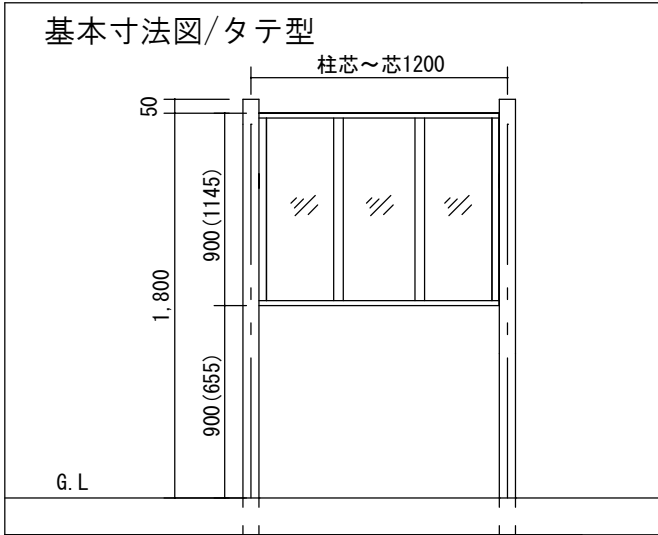


■アングル固定（タテ型）施工手順



2 タテ型 アングル金具の取付

4×25タップビス ①アルミ支柱に止めアングルの固定

上部 支柱天端より50mm下がった位置に止めアングルを固定します

下部 MT1209の場合 支柱天端より950mm下がった位置にアングルの位置
MT1212の場合 支柱天端より1195mm下がった位置にアングルの位置がくるように、パネル付寸法を確認の上、止アングルを固定します

・止アングル取付の場合、アルミ支柱のセンター（中央）にビスで固定して下さい。パネルの取付ができなくなる恐れがあります。

3 ユニットパネルの取付

【タテ型パネル断面図】

4×16

止アングル
パネル
止アングル

ユニットパネルをアルミ支柱に取付ます
取付にあたり、事前に支柱の垂直を確認の上、パネルを止めアングルと付属のビス（4×16）で固定します
再度アルミ支柱の垂直、パネルの水平を確認し、アルミ支柱をコンクリート等で根巻きします

取扱説明書 施工と使用上のご注意

注意 安全にご使用頂くため、必ず守って下さい

商品の施工につきましては、必ず組立説明書に従って施工して下さい。施工完了後に取扱説明書を施工主様にお渡しすると共に、メンテナンス等についてお客様に充分ご説明下さい。
組立・施工完了後には、ネジの緩み等再度点検し、汚れ等を取り除いてください。

1. 研磨性洗剤やシンナー、ガソリン等石油系溶剤は使用しないで下さい。

製品の切り口は、怪我の原因となることがあります。直接触る時は十分に気を付けて下さい。
風当たりの強い場所や地盤の弱い場所に施工する場合は、控え柱等の補強が必要です。

2. 取扱い上の注意事項

パネルを揺すったり、寄りかかったりしないで下さい。
樹脂製品は、一般金属と比べ熱変形温度が低く、変形や引火の恐れがあります。火気の近くや、高熱を発する場所では使用しないでください。
パネルの一点に衝撃を加えると、破損等事故の原因となります。ハンマー等で叩いたり、ハシゴをかけるなど絶対しないで下さい。
保護パネルに雨具、洗濯物、布団等を乗せるなど本来の目的と違う用途での使用はしないで下さい。

3. お手入れ方法及び注意事項

大気の流れがパネル面・柱等に付着しますので年1～2回の洗浄をおすすめします。
製品の汚れは水で洗い落として下さい。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、その後は水で洗い流して下さい。
研磨性洗剤やシンナー、ガソリン等石油系溶剤は使用しないで下さい。

プライバシーパネル 組立・施工の留意点

■ アルミ支柱の設置方法

柱埋込タイプ ・支柱根巻きコンクリート仕様

根巻きコンクリート 50角アルミ支柱 300×300 各々

- ①支柱用の穴を掘り深さを決め栗石を入れます。
- ②竹垣の本体が完成した後、支柱の垂直を確認し、コンクリート等で根巻き工事を施します。

■ コーナー施工の確認事項

コーナー角度が90° の場合

角度が90° 以外の場合
(支柱が2本合わせになります)

■ 控え柱（50角）の取付方法（風当りの強い場合）

支柱に控え柱の受け金具を取り付けます

4×16 テクナビス

支柱

控え柱

金具と控え柱は貫通ボルトφ6×65にて固定します

H1800の場合
控え柱の取付寸法は図を参考にして施工してください

1200

400

コンクリートで根巻きします

■ T型チャンネル固定（ヨコ型） 施工手順

基本寸法図/ヨコ型

柱芯～芯1200

50 1.800 1145 (1525) 655 (275) G.L.

1 アルミ支柱の設置

柱芯1200

1850 2400 G.L.

根入り深さ
H=1800 GL-550
H=1500 GL-450

アルミ支柱を建て、支柱下部根入りの深さを合わせ、高さ・垂直を確認します

2 下部ポイント金具の取付

下部ポイント金具

4×16

下部ポイント金具の方向 上部ポイント金具の方向

アルミ支柱下部の指定位置にポイント金具（36×60）を付属のビス（4×16）で固定します

下部ポイント金具とは向きが逆になります

テープパッキンが貼ってあります

上

下

3 ユニットパネルの取付

柱上部よりユニットパネルをスライドさせ、下部ポイント金具に引っ掛けます

4 上部ポイント金具の取付

4×16タップビス

←柱キャップ

T型チャンネルを押える方にポイント金具のテープパッキンの貼ってある面を向かわせて下さい

- ①ユニットパネルをスライドさせた後、上部ポイント金具をT型チャンネルに入れアルミ支柱と付属のビス（4×16）で固定します
- ②柱キャップを、アルミ支柱に取付ます
- ③パネルユニットの取付完了後、再度アルミ支柱の傾きを確認し、コンクリート等で根巻きを施します